



うわじま 市議会だより

令和7年
(2025)

第80号

9月1日



宇和島百景～耳を澄ませば・・・～

令和7年度 一般会計補正予算

6月定例会14億5,756万円を追加
総額532億4,156万円

※9月定例会の日程につきましては、改選に伴い、
確定していないため掲載しておりません。

もくじ

- 定例会議決結果 2～3
- 議員別賛否一覧表 3
- 行政視察報告・政務活動費 4～7
- 一般質問 8～16

令和7年6月第101回宇和島市議会 定例会 議決結果一覧表

番 号	件 名	議決結果
宇監報告第21号	2月例月出納検査の結果報告について	即 日 受 理
宇監報告第22号	3月例月出納検査の結果報告について	即 日 受 理
宇監報告第1号	4月例月出納検査の結果報告について	即 日 受 理
宇監報告第2号	定期監査結果報告について（文化・スポーツ課、伊達博物館、人権啓発課、吉田支所、三間支所、津島支所）	即 日 受 理
宇監報告第3号	5月例月出納検査の結果報告について	即 日 受 理
報 告 第 2 号	令和6年度宇和島市一般会計繰越明許費繰越計算書	即 日 受 理
報 告 第 3 号	令和6年度宇和島市一般会計事故繰越し繰越計算書	即 日 受 理
報 告 第 4 号	令和6年度宇和島市下水道事業会計予算繰越計算書	即 日 受 理
報 告 第 5 号	令和6年度宇和島市病院事業会計予算繰越計算書	即 日 受 理
報 告 第 6 号	令和6年度宇和島市水道事業会計予算繰越計算書	即 日 受 理
報 告 第 7 号	株式会社うわじま産業振興公社経営状況報告書	即 日 受 理
報 告 第 8 号	専決処分した事件の報告について	即 日 受 理
専 決 第 6 号	車両物損事故の和解について	即 日 受 理
専 決 第 7 号	物損事故の和解について	即 日 受 理
専 決 第 8 号	車両物損事故の和解について	即 日 受 理
報 告 第 9 号	専決処分した事件の承認について	原 案 承 認
専 決 第 5 号	宇和島市税賦課徴収条例の一部を改正する条例	
議 案 第47号	宇和島市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
議 案 第48号	宇和島市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
議 案 第49号	宇和島市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
議 案 第50号	単純な労務に雇用される職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
議 案 第51号	宇和島市手数料徴収条例及び宇和島市港湾管理条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
議 案 第52号	宇和島市下水道条例等の一部を改正する条例	原 案 可 決
議 案 第53号	宇和島市病院局企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
議 案 第54号	宇和島市上下水道局企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
議 案 第55号	令和7年度宇和島市一般会計補正予算（第1号）	原 案 可 決
議 案 第56号	令和7年度宇和島市介護保険特別会計補正予算（第1号）	原 案 可 決
議 案 第57号	財産の取得について	原 案 可 決
議 案 第58号	財産の取得について	原 案 可 決

議案第59号	財産の取得について	原案可決
議案第60号	財産の取得について	原案可決
議案第61号	公有水面埋立てに関する意見について	原案可決
議案第62号	新たに生じた土地の確認について	原案可決
議案第63号	字の区域変更について	原案可決
議案第64号	市道路線の認定及び廃止について	原案可決
議案第65号	道の駅津島熱田温泉の指定管理者の指定について	原案可決
議案第66号	辺地に係る公共的施設総合整備計画の一部変更について	原案可決
議案第67号	宇和島地区広域事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の変更について	原案可決
議案第68号	宇和島市議会議員及び宇和島市長の選挙における選挙運動経費の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第69号	宇和島市報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第70号	令和7年度宇和島市一般会計補正予算（第2号）	原案可決
議員提出議案第3号	宇和島市議会委員会条例の一部を改正する条例	即日原案可決

議員別 賛否一覧表

※下表には議案等について、賛成、反対の双方があった議案のみ表示しています。

議員名 議案等	みずほ							市民クラブ				公明党		あゆみ			自由民主党 創政会			無会派					賛 成 合 計	反 対 合 計	退 席 合 計	議決結果
	松 本 孔 議 長	三 曳 重 郎	佐 々 木 宣 夫	中 平 政 志	清 家 康 生	福 本 義 和	泉 雄 二	上 田 富 久	梶 山 三 也	川 口 晴 代	武 田 元 介	我 妻 正 三	畠 山 博 文	吉 川 優 子	兵 頭 司 博	石 崎 大 樹	山 瀬 忠 弘	浅 田 美 幸	赤 松 孝 寛	榎 野 洋 子	田 中 秀 忠	山 本 定 彦	浅 野 修 一	坂 尾 眞				
議 案 第55号		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	18	5	0	原案可決
議 案 第65号		○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	18	5	0	原案可決

※松本孔議員は議長のため採決に加わっておりません。

(○：賛成 ×：反対 退：退席)

行政視察報告

議会運営委員会

日程 4月16日～18日

視察地 滋賀県彦根市

京都府福知山市

目的

○議会改革の取組について

参加議員

委員長 畠山 博文

副委員長 浅田 美幸

委員 吉川 優子

議長 松本 孔

副議長 梶山 三也

視察報告

彦根市は、平成24年1月の基本条例制定に際して実施された市民アンケートの結果を受け、「市議会に関心がない」「市民との対話の場がない」「議員の活動内容がわからない」「議員の資質の向上を」といった市民の声にこたえるべく、分

かりやすい議会を目指して、議会改革が始まった。

また、市民との接点を強化し、議会への理解を深めるために、「議場開放促進委員会」「広報委員会」「広聴委員会」の3つの組織が連携して活動していた。

市議会だよりについては、先進地視察や大学生との意見交換を実施し、以下のような改善を行っている。

・個人質問の見やすさ向上
・顔写真の掲載

・カラー化の推進

・横書きへの移行

・討論の掲載

議会報告会については、参加者の少なさや偏り、参加者のニーズの把握が不十分であり、関心のあるテーマや開催方法が明確でないなど多くの課題があった。

福知山市では、市議会だ

よりは議員自らが記事の大半を作成しており、フルカラー化などで見やすさが向上し、市民に好評であった。

議会報告会は、全議員が参加し、市政全般に関する課題について、市政への反映を目的に市民と対話形式で意見交換会を実施。団体対象形式と地域巡回形式を平行して実施していた。

両市とも、議会だよりの発行において、議員が積極的に関与している点です。議員が主体的に関わることで、より市民に響く魅力的な紙面作りが可能になると感じました。カラー化やレイアウトの工夫はもちろんです。議員自身の言葉で議会の活動や議論を伝えることは、市民と議会との距離を縮める上で不可欠であると感じた。

また、定期的な議会報告会の開催が、市民への説明責任を果たすとともに、市民の意見を議会活動に反映させる上でいかに重要であるかを再認識した。



総務環境委員会

日程 5月20日～23日

視察地 石川県珠洲市

石川県輪島市

目的

○能登半島地震、奥能登豪雨の被害状況及び災害対策本部の初動対応について

○地震・水害の被害状況や生業及び地域貢献等について

○令和6年能登半島地震等（消防団の活動）について

○その他現場確認

参加議員

委員長 佐々木宣夫

副委員長 清家 康生

委員 榎野 洋子

委員 梶山 三也

委員 兵頭 司博

委員 我妻 正三

委員 福本 義和

視察報告

そつ遠くない未来に南海

トラフ巨大地震の発生が予測される現状に対して、本市が考えておかねばならないことは何かを知るために、能登半島2市への視察を行った。

珠洲市では、令和6年12月の国交省による海岸部埋め立て道路の完成により、市全域での復旧に入ることができたものの、発災前に比して人口は3割減っているとのことであった。

長い揺れに耐えられずに木造建築が相次いで倒壊しており、非住家も対象にした公費解体の完了は、令和7年10月が想定されているが、復興には多くの時間を必要とするように見てとれた。

輪島市田野町に位置するもとやスーパーの本谷社長は、地元のために留まって、踏ん張り続けた方のお一人だが、震災直後から営業を続けてこられた取り組み、そ

の後の豪雨災害に遭われた時の様子を生々しくお話しただいた。メンタルヘルス不全も経験されたが、全国から寄せられた想いを受けて逞しく戦っているお姿に深い感銘を受けた。

輪島消防署では、出坂参与（発災時の消防署長）による説明を受けた。

災害想定とは、天と地ほどの差があった実際の災害に、結ばれた広域連携は十

分に機能せず、災害の全容はようとして知れない状況。そのような中で起きた輪島市大規模火災に対して、常備・非常備とも死傷者を一人も出すことなく、限りある人的資源をいかに有効に使うかに腐心されたご様子を熱い語り口でお聞かせいただいた。また、今後、最悪な状況も想定して訓練することの重要性を教えてください。



厚生委員会

日程 5月14日～16日
視察地 北海道函館市
東京都板橋区

目的 各種取組について

参加議員

委員長	山瀬 忠弘
副委員長	吉川 優子
委員	畠山 博文
〃	浅田 美幸
〃	三曳 重郎
〃	石崎 大樹

視察報告

「科学」と「デザイン」、そして「街」という3つのキーワードを軸に、科学技術やデザインに触れ、未来への好奇心を刺激する新しい体験を提供する科学館である「はこだてみらい館」と、子どもたちが遊びを通して学び、成長できる「はこだてキッズプラザ」の2つの施設は函館市民だけでなく、観光客にとっても魅力的なスポットとしてもそれぞれ異なる魅力を持つ体験

型施設となっている。ここでは特徴的な設備や体験が提供され、子どもから大人まで楽しむことができる施設となっており、視察においては両施設内を見学したうえで質疑応答を行った。

板橋区では、社会福祉法人あゆみの会が主体となっている「板橋保育園」において施設内を見学し、園児だけでなく職員の働き方も考えた動線やトイレ、休憩室等の配置等について学んだ。その後、保育運営について座学にて質疑応答・意見交換を行った。



産建教育委員会

日程 5月12日～15日

視察地 富山県南砺市

東京都北区

東京都豊島区

東京都渋谷区

目的

○部活動の地域移行について

○先進設備やトップアスリート
の練習の様子について○インクルーシブ公園の通
常時や防災時の機能につ
いて○渋谷区教育委員会「シブ
ヤ未来科」について

参加議員

委員長 田中 秀忠

副委員長 泉 雄二

委員 山本 定彦

委員 浅野 修一

委員 赤松 孝寛

委員 上田 富久

委員 松本 孔

視察報告

富山県南砺市では、部活
動の地域移行について視察
を行った。拠点校決定時に

様々な意見や指摘が寄せられた際も、何度も説明会を開催し、リーフレット作成、説明動画の配信など、保護者をはじめとする関係者に対して丁寧な繰り返し説明したと伺った。単なる教員負担軽減に留まらず、生徒の活動機会維持・向上、生涯スポーツ・文化芸術の振興という長期的な視点があった。一斉移行ではなく、段階的かつ緩やかな移行期間を設けることで、混乱を抑えつつ施策を進めていた。

課題として、公共交通機関などの移動手段や、文化部の地域移行の難しさなど、引き続き課題に対して丁寧に向き合つとした。

宇和島市議会政治倫理審査会から審査結果報告書が提出されました。

令和7年1月9日、松本

議長に対し3名の議員の連名で、浅野修一議員が宇和島市議会政治倫理条例第3条第1項（※）に定める政治倫理基準に違反している旨の審査請求が提出されました。

これを受け、議長は2月14日付で宇和島市議会政治倫理審査会を設置し、審査会へ審査を付託することになり、同審査会は計4回にわたる審議を行い、6月12日に権会長から議長へ審査結果報告書が提出されました。

報告書においては、浅野議員は同条例第3条第1項第1号に違反するとの判断が示され、措置として浅野議員へ戒告を行うこと、議会として政治倫理に関する研修会を行うことが求められました。

この報告を受け、6月20日に議長室にて、議長から浅野修一議員へ戒告文書を手渡しました。

なお、審査請求書、審査結果報告書等については、市議会ホームページで公表しています。

※宇和島市議会政治倫理条例（抜粋）

第3条 議員は、次に掲げる政治倫理規範を遵守しなければならない。

（一）市民全体の奉仕者として、その品位と名誉を損なうおそれのある行為及びその職務に関し不正の疑惑を招くおそれのある行為をしないこと。



政務活動費

令和6年度政務活動費交付状況をお知らせします。

政務活動費は、議員の資質向上のため、調査研究その他の活動に必要な経費の一部として、議員の請求により1人当たり月額2万円を交付しています。

交付を受けた政務活動費の総額から必要経費を支出して残額がある場合は、政務活動費を返還することになっています。

令和6年度 政務活動費

(円)

氏 名	交付額	預金利子	執行額	差引額	戻入額	支出科目					
						調査研究費	研究研修費	広報・広聴費	要請・陳情活動費	資料作成費	資料購入費
榎野 洋子	240,000	14	395,198	-155,184	14	0	207,966	6,279	0	60,605	120,348
吉川 優子	240,000	0	265,941	-25,941	0	245,261	20,680	0	0	0	0
田中 秀忠	240,000	2	142,584	97,418	97,418	141,834	0	0	0	750	0
山本 定彦	240,000	0	258,740	-18,740	0	117,720	116,040	0	0	0	24,980
佐々木宣夫	240,000	4	193,654	46,350	46,350	131,652	30,020	0	0	0	31,982
山瀬 忠弘	240,000	0	200,898	39,102	39,102	200,898	0	0	0	0	0
梶山 三也	240,000	0	199,587	40,413	40,413	82,571	0	45,016	0	7,500	64,500
浅田 美幸	240,000	4	200,898	39,106	39,106	200,898	0	0	0	0	0
川口 晴代	240,000	2	76,571	163,431	163,431	76,571	0	0	0	0	0
中平 政志	240,000	0	161,057	78,943	78,943	131,652	0	0	4,160	0	25,245
武田 元介	240,000	94	317,153	-77,059	94	0	0	0	0	261,563	55,590
浅野 修一	240,000	23	211,203	28,820	28,820	59,739	0	8,300	0	101,200	41,964
赤松 孝寛	240,000	0	200,738	39,262	39,262	200,738	0	0	0	0	0
三曳 重郎	240,000	127	130,652	109,475	109,475	130,652	0	0	0	0	0
兵頭 司博	240,000	0	170,944	69,056	69,056	160,861	10,083	0	0	0	0
石崎 大樹	240,000	0	215,957	24,043	24,043	204,257	0	0	0	0	11,700
坂尾 眞	240,000	129	162,638	77,491	77,491	81,262	0	6,279	0	0	75,097
清家 康生	240,000	128	0	240,128	240,128	0	0	0	0	0	0
上田 富久	240,000	0	246,118	-6,118	0	196,688	0	0	0	0	49,430
福本 義和	240,000	124	177,742	62,382	62,382	131,652	0	0	0	0	46,090
泉 雄二	240,000	28	130,652	109,376	109,376	130,652	0	0	0	0	0
公 明 党	720,000	301	359,156	361,145	361,145	222,187	0	0	0	51,570	85,399
合 計	5,760,000	980	4,418,081	1,342,899	1,626,049	2,847,745	384,789	65,874	4,160	483,188	632,325

※公明党分につきましては、会派での請求でしたので、所属議員3名分での精算となっています。



あゆみ

吉川 優子
よしかわ ゆうこ

まちづくりについて

【質問】 本市は、伊達400年の歴史があり、商業、農林水産業の生業で発展してきた。

近年の災害多発、少子高齢化による著しい人口減少から、地方独自に収益化できるまちづくりを進める必要があると考える。

道の駅津島熱田温泉、伊達博物館と大きな建物の建設が決まり、新しくできるものと、岩松の町並み、南楽園、遊子の段々畑、天赦園、宇和島城、商店街、和霊神社、宇和津彦神社、三島神社などの地方祭。道の駅ささいや広場、三間の道の駅、九島、闘牛場、三間の毛利家、吉田のお祭り、そして国安の郷など、今あるものとつなげ、魚類養殖、みかん作り、米作り、風光

明媚な島々。宇和島の唯一無二のものを発信していく。

外国クルーズ船入港を利用して、日本国内だけでなく、インバウンドを見据えた、世界へ向けての展開も視野に入れて、商工会議所などの各種団体と連携していくと思うが、どのようなビジョンを持って進めるのか市長の思いを問う。

【答弁：市長】

歴史文化にまつわるオンラインワンのツール、第一次産業が基幹産業であり、この生業自体を体験すること。我々の地域資源として活かしていく、どのようにリピーターを作り、滞在期間を延ばすことができるか、関係者と力を合わせていきたいと考えます。

【質問】

フォトフェスにおいて、市内事業者との連携はどのように図られ、内容はどのように市民に共有されているのか問う。

【答弁：総務部長】

実行委員会の構成団体の

ほか、多くの方が関わるものに仕上げたいと考えています。作品や運営、広報活動など、様々な角度からの支援や連携方法が考えられますので、留意をして進めていきたいと考えます。

共有について、実行委員会ホームページやSNSによって順次最新情報をお知らせする予定です。広報つわじま7月号に関連記事を掲載予定のほか、関係機関や関係者が持つ広報宣伝媒体等を活用し、できるだけ多くの方に情報を届けられるよう考えています。

【質問】

道の駅津島熱田温泉について、てんやわんや市は、市民に親しまれ、高齢者の方が出品する商品や農産物が、地域の賑わいや生きがいの創出に寄与している。

新しい施設で継続して出品できるのか、個別に契約が必要だと、手続きのハードルが高く、出品の継続が難しくなるのではないかと不安の意見を聞く。

てんやわんや市が担う役割や、既存の出店者がどのような形で新しい施設に関われるのか問う。

【答弁：産業経済部長】

地元産の農産物や加工品

などが取り揃えられ地域活性化に寄与していると認識しています。

指定管理者が決定したら、特産品販売所への出品手数料等の契約内容や具体的な方向性について出品者の意見を伺い、指定管理者と協議及び調整を行う予定です。

福祉施策について

【質問】

若い世代が安心して子育てし、暮らせるまちにするために、全国で展開されている木のおもちゃ美術館のような産業、文化や歴史を生かしながら、子どもたちが木に触れ、自然を感じ、五感を育む空間として、また、地域や高齢者の方々と繋がる場所や機会の整備が大切ではないかと考えるが、民間連携や地域資源活用の可能性について問う。

【答弁：市長】

施設を築いていく中で重要なのは、誰が運営しどのような思いで継続していくのかです。地域のことで役立つしていきたいという人材ともアクセスしながら、話しあった上で作られるべき

だと考えます。

【質問】

旧市内の小児科は市立病院の診療所と個人医院の2ヶ所のみで、子育て世帯にとって不便で不安が多い。

昨年度から、病院の事業継承や新規開業に対する補助制度があるが、今後の取組について問う。

【答弁：保健福祉部長】

小児科標榜医療機関の診療体制縮小や、その他の診療科の開業医の閉院も続いていることから、診療科目を限定せず、今年度も5月30日から通年で公募を行っています。

その他の質問事項

◆危機管理について

◆伊達文化の継承について

◆市民活動について



公明党

わがつま
我妻 正三
しょうぞう

「宇和島市事前復興計画」について

【質問】

災害発生後の復興イメージに関して、事前に民意の意向把握と形成を図ることで復興時間の短縮ができる。

そのための住民との事前の説明会についてどのような進めていくのか問う。

【答弁：企画政策部長】

住民の意向把握は、事前復興まちづくり計画の策定に際し、甚大な被害が起きると想定した上で、どのような復興の姿を描くべきかをワークショップなどを通じて住民の皆様と一緒に検討します。現段階から計画の方向性を検討しておくことで、災害発生後の速やかな検討につながります。

事前復興計画や復興事前準備の周知を積極的に進めますが、住民の意向把握と合意形成について特化した事前の説明会を開催する予定はありません。

定はありません。

【質問】

復旧・復興を進めるにあたり、必要とされる協会や業者と連携した協定の締結はできているのか問う。

【答弁：企画政策部長】

本市では、67の企業や団体などと災害時における応援協定を締結しているほか、15の行政機関との協定を締結し、広域的な相互応援体制を構築しています。

「一般国道自動車専用道路宇和島道路の津波避難場所」について

【質問】

この緊急避難場所は、観光客、通りがかりの方、また地域、自治会以外も避難する。公共の道路上のため、本市が防災倉庫を設置すべきではないかと考えるが、市の見解を問う。

【答弁：企画政策部長】

津波緊急避難場所には、自治会から市に相談があり、市の10分の10の補助金を活用した防災倉庫の設置検討をいただいています。

県が策定中の新たな愛媛県地震被害想定調査結果には、帰宅困難者の数についての想定も含まれる見込みです。その調査結果を踏まえ、避難者の対策について検討を進めます。

南予文化会館大ホール天井等改修事業について

【質問】

今議会で上程された改修費9億円について、なぜこのような高額となったのか。

【答弁：企画政策部長】

被災したホール天井は、亀裂などの破損も確認され、落下部分を元の状態に戻す復旧だけでは天井全体の安全性を十分に確保することが困難な状況です。現行の技術基準を満たさない既存のつり天井全てを撤去し、建物と一体化した剛性の高い準構造化天井へ更新を計画しており、単純な復旧工事よりも高額となっています。

天井や客席椅子の改修に併せて、1階の客席全てを

一新し、快適性を向上させるとともに、休館期間を活用し老朽化設備などを更新する計画としています。本工事に関連する設計業務は現在進行中で、工事費の積算については、精査を継続します。

【質問】

改修費用9億円について、有利な起債を活用して行う工事費の財源内訳について問う。

【答弁：企画政策部長】

合併特例債を活用する予定で、充当率が95%であり、元利償還金の7割が交付税で措置されるため、実質的な市の負担は3分の1程度の見込みです。全国市有物件災害共済会に加入し、当地震での復旧費の最大15%が推定地震災害見舞金として支給される見込みです。

【答弁：総務部長】

9億の事業費に対して3割程度の負担約3億が市の実質負担になると考えます。

そこに、見舞金約8,000万弱が入る可能性があるため、引くと約2億3,000万程度が市の負担になる見込みです。

ラーケーション制度導入について

【質問】

愛知県の休み方改革プロジェクトの中で生まれた制度で、校外での自主学習活動であるため、平日でも子どもは学校欠席とならないラーケーション制度の導入についての見解を問う。

【答弁：教育長】

保護者の多様化する働き方に寄り添い、児童・生徒に新たな学びの機会をつくり出す取組と認識しています。

今後、先行市町の事例を参考に、学習内容の評価、家庭間における公平性の確保といった諸課題について、本市における導入の可能性も含め、調査研究を進めていきます。



市民クラブ

たけだ もとすけ
武田 元介

住民投票の意義について

【質問】

地方自治の中で住民投票はどの位置づけられるか。

【答弁：市長】

有権者からの直接請求を契機にするなど、自治体が住民の御意見を聞くものと認識しています。

【質問】

では、なぜ住民投票制度が設けられているのか。

【答弁：市長】

補完するものではないかと思っています。行政が決めたもの等が議会等で決められるだけではないという意味ではないかと理解します。

【質問】

伊達博について、2回住民投票の請求が行われたが実現しなかった。理由は市長が住民投票は必要ないという意見をつけて条例提案したことにあると思うが、今でも必要ないと考えているか。

【答弁：市長】

建替委員会で検討された

上で市民との説明会に臨んだ後、議会でも議論した上で予算措置がされ、工事も進捗しており、一定の手続を踏んでいる以上、私は必要ないと考えています。

新伊達博物館建て替え工事について

【質問】

軟弱地盤を理由に工事費が増額とならないか。

【答弁：建設部長】

軟弱と評価していないので、その部分に関する工事費の増額はありません。

【質問】

ある深さ以上になると水が滴り落ちるぐらい水を含んだ土がドリルで上がってくるが、これは想定内か。

【答弁：建設部長】

その周辺全部に地下水があるので想定内です。

【質問】

その点の工事額の増額は

【答弁：建設部長】

今後の工事の状況によっては若干の増額はあるかもしれない。

アフオーダブルな住宅を提供する宇和島へ

【質問】

市営住宅はもう造らないと説明を受けたが今後について問う。

【答弁：市長】

川内の市営住宅が間もなく完成し、次なる期に向かっていくと思います。今はいかにしっかりと整備していくかということに力を注いでいます。

【質問】

国は3月に最大28万8,000人が南海トラフ地震で亡くなると推計した。いろいろな補助制度や新しい事業を立ち上げて多くの命を救う工夫がされると思う。しかし、530世帯の耐震でない市営住宅にお住まいの方は死亡する確率が高いと思う。1年間に2件転居され、国の10年間で

【答弁：市長】

おむね8割減らせるとの計画に合わせると、どれだけペースアップしなければならぬのか。今の制度のままで国の目標値に近づけると思うか。

【答弁：市長】

もっと進めなければならぬと認識しています。

フォトフェスティバルの位置づけについて

【質問】

市長はフォトフェスティバル実行委員会委員長を務めている。先日、観光物産協会の総会に出席したが、その会長も市長だ。補助を出す側ともう側が一緒では緊張感がないと思うが、このフォトフェスの位置づけについて、観光物産協会の今年度の事業計画の中に、フォトフェスは出ていなかった。1億2,000万の事業について観光物産協会が触れていない。そういう事業計画をつくることは、観光物産協会の長として如何か。

【答弁：市長】

会長である私の責任だと思っていますが、観光物産協会

【答弁：市長】

事業を受けてくださり具現化していただいている関係性があります。次年度のことを整理する3月末で一旦切り、整理するタイミングとして入れ込むような指示ができていなかったことは事実です。事業は事業計画にないといけないわけではないので、フォトフェスを

【答弁：市長】

今一度評価し、自分たちの組織なら何ができるかということを観光物産協会として考えていかなければならない、大きな旅系のものは、大手の旅行会社等々での誘客は一年前から本来やっておかなければならない現状もあるようです。議決と実際の実施まで半年余りしかないの、我々がフットワークよくこなしていかなければならないと感じています。

人口減少への対応について

【質問】

人口減少を前提とした政策決定・予算の使い方を長期的な視点で行うべきであると考えている。市長はどうか。

【答弁：市長】

否定はしませんが、一方で地方創生や人口減少対策に頭を悩ませながら現在やっているのは、このまちを少しでも長く維持していることと方向性もあるもので、頭に置いておかねばならないと思っています。

無会派

坂尾 眞
さかお まこと

消費税及びインボイスの問題について

【質問】

参議院選挙を前に、消費税減税とインボイス制度廃止が大きな争点になっている。1989年度に導入された消費税は私たちの暮らしを破壊してきた。福祉のためにと言われてつくられたが実際は大企業や大金持ちの減税に使われたことは、多数の国民がその認識に到達したと、私はこの大きな変化を喜んでいい。インボイス制度、消費税について、改めて市長の見解を問う。

【答弁：市長】

財政健全化や社会保障制度を安定化するために、国としてこれらをしっかりと対応していただきたいと思っていますし、インボイス制度については、複数の税率に対応しながら正しく消費税を納めていただく制度です。

【質問】

消費税はやむを得ないんじゃないかという答弁だったが、市長にあえて3択で質問する。消費税はよい、悪い、どちらでもない、この3つでどれか。

【答弁：市長】

悪いとは言いません。今の国の根幹をなしている1つの税ですので、広く集めることができるのではないかという理解です。

医療・介護について

【質問】

「このままでは、ある日突然、病院がなくなります」と日本病院会と6団体が深刻な衝撃的な訴えをした。住民の暮らし、命、人権に関わる医療、介護を守るには、自治体の役割が必要だ。特に地方病院ほど深刻ではないかと危惧する。本市の病院事業会計の昨年度の状況と今後の見通しについて問う。

【答弁：医療行政管理部長】

病院事業会計の昨年度の決算状況は現段階では速報値ですが、純損失が16・2

億円と、一昨年度の9・6億円から大きく増加しており、非常に厳しい状況と申し上げざるを得ません。

市立宇和島病院は、深刻な看護師不足により1病棟を休止した影響で入院患者数が減少し、併せて外来患者数も減少している上に物価高騰もあり、経営状況が悪化しています。今後、入院患者数をコロナ禍以前の状況に戻すことが喫緊の課題であると認識しています。

吉田病院は、増改築が終了したことにより入院患者数も回復していますが、外来患者数は1日平均で70人を下回っており、医師、看護師不足の解消に尽力をし、患者数の増につなげていくことが必要だと考えています。

また、津島病院も同じく医師、看護師不足により病床利用率が70%を切っており、外来患者数も1日平均98人となっています。

このままだと3病院ともに経営的に困窮することは想像に難くないことから、医師、看護師などの医療人材の確保を最優先して、こ

れまで以上に圏域の医療機関との連携を強化し、強みや特徴を理解した上で、機能分化をさらに推し進めて効率化を図っていく必要があると考えています。

【質問】

医療が崩壊する地域を出してはならない、本市も市立病院を中心に医療体制を守ってほしい。

介護保険は繰り返される報酬規定の削減により、公設・民間を含め経営状況が悪化している。民間の介護施設の経営状況と、特に訪問介護について問う。

【答弁：保険福祉部長】

厚生労働省による介護報酬の削減改定が今後も行われた場合、収益の低下や運営資金不足に直面し、経営の安定を図ることが困難になると予測されます。介護の人材不足によりサービスの提供ができず、やむなく事業廃止につながる事例もあります。

訪問介護事業所については、令和6年度は4つの事業所が廃止または休止しました。

【質問】

地域の過疎化、職員の高

齢化と人手不足が進んでいる。事業所支援を強めるべきと考える。社協を含め民間の訪問介護事業者への支援が必要だと思う。

今年4月からの初任者研修費支援は好評だ。免許更新費用についても実施すべきと考えるが、市長の考えを問う。

【答弁：市長】

医療報酬について国に向けていろいろな声が上がっている中で議論もスタートしています。介護の問題は深刻なので、声を大にして私も基礎自治体の市長として、声を上げることができたらと考えています。

その他の質問事項

◆市職員の雇用について



みずほ

ささきのぶお
佐々木宣夫

農業補助について

【質問】

農業用ドローンの補助とオペレーターの養成の費用等について問う。

【答弁…産業経済部長】

国・県の補助事業に加え今年度から新たに市独自の導入支援事業を創設しました。

初期投資の負担が大きい機械の導入支援により農作業の省力化や担い手の確保育成を図ることを目的に、機体及び必要な付属品の購入に要する費用のみを補助対象としています。

資格等の取得費用については、宇和島市中小企業等支援事業により一部を補助できる場合があります。

【質問】

農業用機器購入に対する補助率について問う。

【答弁…産業経済部長】

スマート農業導入支援事業の補助率は3分の1以内、限度額は50万円以内です。

す。

その他に水田農業を行う集落営農組織等に対するトラクターや田植機、コンバインなどの導入補助がありますが、補助率は3分の1以内です。なお、国・県の補助事業には補助率が2分の1以内のものがありません。

【質問】

県補助と合せて補助率を上げてはどうか。

【答弁…産業経済部長】

県の補助事業を活用し、市の予算と合せて、機械の購入に対して2分の1を補助する事業があり、令和6年度には個人の認定農業者による収量センサー付きコンバインの導入実績があり、今年度は農業組合法人が農業用ドローンの導入に向けて準備を進めています。

【質問】

消費税の負担が大きいが、補助率5割を超えて、6割にすることはできないか。

【答弁…産業経済部長】

原則、対象外経費となるため、事前に消費税相当分を差し引いて申請していた

だいており、国・県、他の自治体でも同様です。

補助率が高い国や県の事業では、個人農家が申請できない、導入後の定量的な成果目標を求めるなど厳しい要件が設けられているため、幅広い農業者の方が活用できるように、市単独事業において機械購入費用を補助している点についてご理解をお願いします。

学校について

【質問】

統合による廃校予定の学校で生じる設備の不具合等、就学に支障を来す事態、及びその後の管理について対応するのか問う。

【答弁…教育部長】

児童・生徒の学校教育活動に支障を来す場合には速やかに修繕を行います。廃校後は利活用の状況に応じた対応を検討します。

防災・減災について

【質問】

要支援者の避難について

て、各自治会単位での計画作成は進んでいるか。

また、自治会への何らかの支援は行っているのか。

【答弁…保健福祉部長】

本年5月1日現在、宇和島市の避難行動要支援者は2,441人、そのうち個別避難計画策定済みの方が251人で、策定率は10.28%となっており、計画策定を急ぎ進めています。

特に自治会が主体的に地域の情報共有や計画作成の支援者の調整を進めている地域では計画策定が円滑に進む例もありご協力に感謝しています。

多くの要支援者を抱える自治会では負担も大きくなるため、役割分担として自治会には、地域内の協力体制という立場で、具体的には計画作成者である防災士会や保健関係者が地域内で実際に災害時において要支援者が避難をするお手伝いをする支援者を探していたり、可能範囲でのご協力をお願いしています。

今後とも計画策定の進捗状況を注視しつつ、計画作成支援者や自治会等の役割に

ついて随時検討し、より実効性のある個別避難計画策定の推進を図ります。

【質問】

道の駅みまが防災道の駅に指定見込みだが、今年度の事前復興まちづくり計画に三間中心部が挙げられている。モデル地区の検討にどのように反映されるのか問う。

【答弁…企画政策部長】

本市が大規模な津波災害を受けた際、津波被害のない三間地域が応急期の復興支援拠点となることが想定されており、今年度実施する三間中心部の事前復興まちづくり計画の策定において、防災道の駅みまの位置づけを含む地域の特性を踏まえた復興方針や復興イメージなど、地域でのワークショップを通して議論したいと考えています。



公明党

はなやま
畠山 博文
ひろふみ

命を守る防災・減災について

【質問】

避難所環境の整備に福祉の視点を、との声が上がっているが、具体的にどのようなことが実施されるのか問う。

【答弁：企画政策部長】

福祉の視点から避難所の環境整備対策の例について、トイレ対策として簡易

トイレや車椅子対応のマンホールトイレ、多機能型のトイレカーの整備に加え、昨年度からラップ式の簡易トイレを導入しています。能登半島地震の支援を通じて得られた教訓に基づき、高齢者など配慮が必要な方は、屋外に設置された仮設トイレを使用することが難しいため、屋内で衛生的に使用できるラップ式簡易トイレが有効です。

食事対策として温かい食事の提供を可能とするため、避難所へ大容量の炊き出し用の資機材を整備しています。

また、宇和島市子ども食

堂連絡協議会と協定を締結し、平時からイベントなどでその資機材を活用すること、災害時の支援体制の実効性を高める取組を進めます。

市災害対策本部では避難所物資チームを編成し、各部署が連携することで、避難所の開設・運営、避難者の健康、栄養管理、物資調達などの調整を一体的に行う体制を構築しています。

【質問】

小・中学校体育館へのエアコンの設置について、整備計画を問う。

【答弁：教育部長】

スケジュールについては、今年度設計業務、令和8年度から10年度にかけて空調設置工事を実施した後、11年度から14年度にかけて断熱性確保工事の設計、工事を実施する予定です。学校適正規模、適正配置に基づく統合実施後の、現役校16校を対象として整備を行います。

結婚支援について

【質問】

本市の結婚支援事業の現

状について問う。

【答弁：こども家庭課長】

結婚相談窓口として、うわじまMーセンターとえひめ結婚支援センター（愛結びコーナー）の2つを設置しています。

Mーセンターでは結婚相談や会員同士のお引合せなど、結婚推進委員とともに地域密着型の支援を行っています。令和6年度のお見合い件数は45件で、9組が成婚しました。

えひめ結婚支援センターの特徴は、Aーによるマッチング支援で、こちらは29件のお見合いで1組成婚となっています。

婚活イベントも例年開催し、参加するだけでも楽しめる内容となっております。昨年度は3回開催し、13組のカップルが誕生しました。令和5年度にカップルとなったうちの1組は、その後成婚に至っています。

結婚世帯に対する経済的な支援は、年齢と所得に制限がありますが、結婚した時点の年齢が夫婦ともに29歳以下で世帯所得が500万円未満の場合は、家賃補助等60万円と時短・省エネ家電の購入費20万円の最大80万円の補助制度です。

学びに借金はいらない

【質問】

奨学金返済支援事業の現状と充実について問う。

【答弁：教育部長】

条件を満たす方を対象に、前年度の奨学金返済額の3分の2、上限20万円を最大5回支援するものです。

令和5年度からは年齢要件を30歳以下から40歳以下にまで対象を広げ、企業要件の撤廃など見直しを行った結果、新たに制度を利用した方は令和4年度と比較して3倍を超え、令和6年度末は129名の方に利用いただいています。今後、本事業の目的である移住定住の促進、地元で就職しやすい環境を整え、若者世代の負担軽減に努めます。

歴史・文化を未来へ

【質問】

新伊達博物館の建設を楽しみにしている子どもたちがいると思う。教育長の本市文化に対する所感を問う。

【答弁：教育長】

本市は、数多くの文化財が郷土の先人により守り伝えられています。小・中学校では、宇和島の自然や歴史、伝統、多様な文化を理解することで、子どもたちに郷土愛、誇りを持たせるふるさと教育に、全教育活動を通して取り組んでいます。今後も子どもたちの豊かな感性を育て、文化を大切にする心を育むとともに、地域の文化活動の活性化を図り、地域の住民が文化芸術活動に触れられる機会の充実に取り組みます。

その他の質問事項

- ◆子どもたちの居場所について
- ◆本市の宣伝・アピールの強化について
- ◆誰もが投票しやすい環境の整備
- ◆福祉施策について



無会派

やまもと
山本 定彦 さだひこ

米不足の給食への影響及び本市における食料安全保障をどう考えていくのか

【質問】

米不足による給食への影響はあるか。

【答弁…：教育部長】

現状は必要量を確保しています。調達価格は本年4月時点で令和4年4月と比較すると約1.5倍ですが、市が価格高騰に対応した予算措置を行うこと等により質・量を落とさず、従来と同様に地元旬の食材を積極的に取り入れ、子どもたちが毎日の給食時間を楽しみにできる給食を継続して提供できるよう努めます。

【質問】

戦後の農業政策を顧みた所感を問う。

【答弁…：市長】

かつては大きな課題ではなかったものが、今は恒常的な課題になっているんだと思う。気候変動による不作が出つつあることや農業者の高齢化、担い手不足が大きな課題にある

のだろうと感じています。その中で昨今の米価の高騰につながっていることや、農水省における政策が変更されようとしていることなど、日本の農業が大きな変化を迎えようとしているんだと思う、かつてとは違う状況にあるんだろうと認識しています。

国民負担率と担税能力及び消費税・インボイス制度について

【質問】

埼玉県では自民党県議団の主導で意見書が提出され、エネルギー価格や原材料費の高騰により小規模事業者等の経営は厳しさが増している指摘している。インボイス制度の負担を求められる状況ではないとして、経営の持続化や県内の経済活性化の重要性を考えると、制度を廃止することが最良の策と言わざるを得ないとして採択され、国へ提言がなされた。国にインボイスの制度の廃止について提言していただきたい。

【答弁…：市長】

そういった不満や不安を

感じないよう国は説明してほしいですし、今後は国の中でも議論をしていただきたいと感じています。

伊達博物館について

【質問】

今後の本市の命運を握る一大事業を推進するのならば、市長自身の思いを公式LINEやYouTubeやケーブルテレビで徹底して情報発信していく必要があるのではないかと。

【答弁…：市長】

建てるのが目的ではなくて、建てた後に博物館の力を発揮していくことに尽力していかなければならないと思います。守る、見せる、いかすという博物館の今の形をどのように表現していくのか、しっかり発信していきたいと思っています。

基礎自治体における新型コロナウイルスの総括が必要ではないか

【質問】

先日アメリカ政府が、コロナウイルスは人工だった

という特設ページを作ったことについて、どのような見解を持っているか。

【答弁…：市長】

そのメディアが報道されたこと自体存じ上げていないので、コメントは差し控えたいと思います。

【質問】

mRNAワクチンによる人体への様々な影響が論文として数多く発表されているが、これに対してどのような見解を持っているのか。

【答弁…：病院事業管理者】

宇和島市立3病院においては新型コロナウイルス感染症の予防接種に限りmRNAワクチンを使用しています。ワクチンを含む医療品については有効性及び安全性が確認された上で、厚生労働省の承認を受けたものを使用しており、公的医療機関としてその基準に基づき適切に対応しています。

今後も厚生労働省の通知等を注視の上、適切な医療の提供に努めます。

【質問】

私は市民の生命と健康を守る立場として、何度でも言っても同じような答弁だと思うが、ぜひ接種された方の健康の追跡調査と、亡くなられた方の接種履歴調査をお願いできないか。

【答弁…：市長】

毎回同じ答弁で申し訳ありませんが、国がその調査方法等をお示しいただいた上で実施することに意義があるだろうと考えています。

その他の質問事項

◆外来生物メリケンタキソウについて

◆改正鳥獣保護管理法について

◆日本の未来を担う子どもたちへの教育大綱の基礎として必要なこと

◆市民協働のまちづくりについて

無会派

まきの
槇野 洋子

人口減少と少子高齢化について

【質問】

若者の価値観の多様化や経済的な理由や未婚化、晩婚化、高齢化社会の到来により、年金の見直しや社会保障制度の充実に予算が重点的に配分され、少子化対策の予算は少なく、子育て支援よりも介護制度に重点が置かれた。意思決定の場に当事者である女性が少なかったことが背景にある。

今、未婚化、晩婚化、晩産化、女性が社会進出し過ぎたなど、まるで女性が悪いように言われているが、女性の声を聞いてほしい。今、最も必要なことは若者の声を聞き、置かれている環境に真摯に向き合い、解決策を考えることだと思う。

若い世代の女性が市外へ転出している今、選ばれないまちになりつつあるが、なぜ転出していくのか市長は考えたことがあるのか。

【答弁…市長】

私の周辺でも市外へ出ていく方はいらつしやいますし、話を聞く機会はありません。女性の声を聞くことは重要だと認識しています。

【質問】

社会を形づくってきた公的サービスの提供が税収不足で立ち行かなくなるのではないかと思う。将来の負担をなくし、住み続けてくれる市民のことを一番に考えないといけないと思うがどのように考えているか。

【答弁…市長】

政策決定に人口減少の要素を入れていくことに異論はありませんが、今、国・地方を挙げて地方創生や人口減少対策に取り組んでいることも事実なので、そういった部分で何ができるか、人口減少の要素の中でどういったものを縮小せざるを得ないのか、それらを両立しながら考えていかなければならないと思っています。

物価高騰生活支援について

【質問】

日常生活に欠かせない米

の価格高騰を受け、松山市は食糧盛りの子育て世帯の支援にお米券を配ることを発表した。今治市は国の交付金も活用して4億7,000万円を計上し、市民1人当たり2,200円分のお米券を全市民に配る予定だが、本市は配布する気はないのか。

【答弁…市長】

地域とつながる商品券事業で引換券を発送する準備を進めています。また、今回の国からの交付を受けてお子様に応援券の配布をしていこうと上程しています。早めにお手元にお届けしたいと考えていますので育ち盛りのお子さんの背中を少しでも押すことができよう取り組みたいと思っています。

【質問】

物価高騰対策を地域とつながる商品券事業で十分とするのか。

【答弁…市長】

地域とつながる商品券事業はコロナ期にスタートし、コロナへの対策から物価高騰対策という中で、定期的に実施しているので、ご利用いただけたらと思います。

市営学生寮の整備について

【質問】

令和8年から10年契約で2億円の債務負担行為に私は賛成できない。どう考えても無理がある。来るかもしれない分からない、二、三人しか来ないかもしれない。とにかく急いでこの2億円の債務負担行為を認めさせようとしていることがあまりにも無計画過ぎると思う。

【答弁…市長】

家賃設定等について学校と話したところ、その設定で十分だ、家賃や何かの特典で生徒に来てもらうのではなく、お支払いしてでもそういった生徒に来ていたいただきたいと話されました。昨日確認しておりますので、その点は高校の名誉のためにお伝えしておきたいと思っています。

伊達博物館建設について

【質問】

人口減少が加速し、働く人口より介護人口が多くな

る状態である。伊達博物館の維持管理費は少ない納税者の負担になる。税収を確保してからやらないのか。伊達博物館の運営費は全てクラウドファンディングにする、賛成の方の会費で賄うなど、将来のことをもう少し考えてもらえないか。

【答弁…市長】

そのように努力したいと思っています。

【質問】

増額になる可能性がある伊達博物館建設は一体誰のためにするのか。何が何でも続ける意向なのか。

【答弁…市長】

これまでいろいろな対話をしながら進めて議会の議決をいただいているので、最後まで着実にやっていきたいと思っています。

その他の質問事項

- ◆持続可能な農業について
- ◆南予文化会館大ホール天井等改修事業について
- ◆投票機会の確保について

無党派

あさの
浅野 修一
しやういち

宇和島フォトフェスティバルについて

【質問】

宇和島ARTプロジェクトは、18名の委員で構成されているが、A・L・L宇和島体制となっているか。

【答弁：市長公室長】

地方創生の役割を担う組織として多様な主体に参画いただきたいと考え、芸術、まちづくり関係者、商工、観光、交通、金融、マスコミ、行政機関等で構成し、委員について、その団体内での趣旨に沿った選任をお願いしました。子育て世代や女性のほか、市民有志の組織であるUwajima Creative Communityにも参画いただきました。この組織は本事業の実施に向け開催したワークショップのメンバーなどを中心に、アートに関心が高く、デザイン力を使って宇和島の魅力を発信してい

る若手世代の集まりとなっています。本プロジェクトの構成について、会の目的を達成するために必要な方に参画いただいていると考えますが、今後の展開に伴い、必要に応じて拡充・調整も検討します。

【質問】

宇和島ARTプロジェクトの第2回は9月開催予定だが、10月のフォトフェスティバルまで、どのようなことを議論する考えか。

【答弁：市長公室長】

現在関係者と内容を検討しています。9月に開催予定の総会は、今年度のメイン事業であるフォトフェスティバル本体の手前の時期なので、全体の事業内容について主の議題となる見込みです。

【質問】

委員の所属する団体内の情報共有や意見集約というものが大切であると思うが、そのために必要なことはどういったことがあるか。

【答弁：市長公室長】

総会だけでなく、進捗状況等について各委員に対して随時メール等でお知らせ

しているほか、総会までの間も、必要に応じてメンバーでの会議を開催して意見交換を図りたいと思います。

要望があつた場合は、事務局が個別に事業の説明に赴きます。例えば宇和島商工会議所青年部の例会において、本市のティセールの取組や本イベントの実施に至った経緯、概要などを説明し、趣旨等に賛同いただき、フォトフェスティバル開催期間中に、青年部設立40周年記念イベントについて商店街で実施することとを企画していただくこととなりました。指摘のことも留意して対応していきます。

【質問】

本市出身、在住の写真家の意見を聞く機会は設けたのか。

【答弁：市長公室長】

市内在住の写真家に関しては、関連企画に御協力をいただくよう交渉を行っている方や、一般者が参加可能なコンテストの開催を望む意見をいただいた方もいます。

また、トップアーティスト

トの展示企画に関しても、可能な限り本市に関係のあるアーティストの参加について打診し、キュレーターによる選考と参加交渉が続いているほか、その他関連企画においても、協力交渉を行っている市外の写真家もいます。引き続き可能な限り本市にゆかりのある写真家の皆様に協力をいただけるよう努めたいと思います。

【質問】

宇和島フォトフェスティバル2025キービジュアルは誰が決めるのか。

【答弁：市長公室長】

キービジュアルを含め、テーマやイベントロゴ、V（ビジュアルアイデンティティ）について、うわじまブランド魅力化計画の内容を踏まえ、専門家により本市の認知度向上やブランドイメージの浸透、交流人口の拡大につながるようなコンセプトを設定していただき、制作を進めます。最終調整の段階に入っている見込みです。テーマについては、本市が進めてきたティセールの延長線に

あるもので、日々の暮らしや風景、宇和島に住む人々の営みそのものが宇和島のブランドであるという日常の豊かさを基調とする予定です。

【質問】

作品の制作にあたる費用9,200万円のうち、写真家の人数、出品数、費用についてどれぐらい想定しているか。

【答弁：市長公室長】

現時点では、9名のアーティストによる約47点の展示を予定し、制作展示費用は約8,800万円となる見込みです。アーティスト数、作品展示数が確定していないので、交渉、制作を進めていく過程で変更になる場合があります。

その他の質問事項

◆市営学生寮について

